

— わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い —
ミュージアム都留からのお知らせ

市民学芸員「谷の町 史の里案内人」活動中!

市の魅力を多くの人に知っていただくため、また、ボランティアガイドとして活動できる市民学芸員を育成するため平成18年度から「谷の町 史の里案内人」養成講座を開講し、平成19年5月から案内を開始しました。八朔祭や芭蕉句碑めぐり、勝山城や城下町散策などの案内を行い、市内外の大勢の方に市の魅力を紹介しています。

長坂あぐりさん

一緒に共感したい城下町谷村

城下町谷村に日ごろ魅力を感じています。講師の棚本安男先生より紹介され「谷の町 史の里案内人」養成講座に参加しました。

実際に案内を初めて行う時は、ぎこちなく不安でした。しかし、案内の回数を重ねる毎に緊張感もとれ、多少の要領も得られる様になり、聞いてくださる皆様のお姿を見てホッとします。「安ずるより慣れるが如し」です。これからは、聞いてくださる皆様の立場になって専門用語ばかりでなく、分かり易く歴史はこんなに素晴らしいものと思える様な、そして、地域の事を少しでも理解していただけるよう工夫したいと思います。また、共感できたら最高に嬉しいです。小山田氏、秋元氏の勝山城及び神社仏閣と松尾芭蕉との関わりが主です。谷村だけのこの貴重な歴史や文化財を大切にしながら大事に皆様を案内して、語り伝えて行きたいと思えます。

天野 茂さん

奥の深い都留の歴史

歴史の好きな私は都留市の誕生と現在に至る経緯の勉強を「谷の町 史の里案内人」養成講座で学び、知らない所の多い事に驚きました。実際に案内を行う時は、場所により案内方法が異なるので事前に検討などをして当日を迎えています。

今後は近隣の市町村とも関連を持たせた紹介方法など、都留市のPR方法を考えるて行きたいと思えます。



勝山城のなぞに迫る!

現在、勝山城跡では本丸にある東照宮の裏手(二の丸の一部)にあたる部分の調査と新たにお茶壺蔵ではないかと考えられる箇所重点をおいて調査を行っています。東照宮の裏手斜面から溶岩などの石が数か所で確認され、その部分の清掃発掘を行っています。この箇所は国立国会図書館で確認された絵図面をみると石垣が積まれた表現になっており、石垣が積まれていた可能性が考えられます。調査では北宋銭や釘と思われる金属片が確認されています。新たにお茶壺蔵と考えられている箇所は本丸から北へわずかに進んだ平場にあたります。ここからは、江戸時代のものと考えられるキセルが確認されています。両方の調査箇所でも新たな発見に期待して調査を進めていきたいと思えます。



『ヘラクレスとクレタの牝牛』
(1976年) 石版画

ゼウスとアルクメーネの子ヘラクレスは、嫉妬に狂ったゼウスの正妻ヘラの陰謀により、ミュケーナイ王が命じた「12の難業」を成し遂げなければならなかった。その一つが、クレタから赤い牝牛を連れてくることであった。

Mythologie Grecque

増田誠美術館

増田誠が描く

ギリシャ神話の世界

会期 3月2日(日)まで

会場 午前9時～午後4時30分
増田誠美術館

(ふるさと会館2階)

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は)

開館し、翌日が休館)、第3火曜日